

# FAO Newsletter

2007年11月  
Vol. 20



今月の統計

低所得食料不足国の  
穀物輸入額

2007/08年

281億ドル

(5年前の2倍)

発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF) www.jaicaf.or.jp 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階 TEL：03-5772-7880 Email：fao@jaicaf.or.jp

Contents

目次

- 気候変動の影響に対応する戦略づくりを
- 「家畜の遺伝資源保護のための世界計画」を採択
- アイスホッケーチャリティー試合を開催します
- 廃材の加工で温室効果ガス削減
- FAO、アフリカ洪水被害国を支援
- 「世界食料デー」イベント開催
- 食肉生産の急速な拡大で新たな感染症発生・流行の危険性も
- アフガニスタン農業復興に関する出版物
- 第3・4回食料・農業協力講演会
- 環境に優しい漁業を求めて

気候変動

Climate Change



## 気候変動の影響に対応する戦略づくりを

## 廃材の加工で温室効果ガス削減 コスタリカの「緑の政策」



FAO/12025/T.Fenyes, MTI

▲気候変動枠組条約は、気候変動を「気候の自然な変動」ではなく「人間活動に起因する気候の変化」と定義している

世界中から140人の専門家が参加し、ローマ（イタリア）で開かれた「気候変動に関する国連枠組条約（UNFCCC）」事務局主催「適応計画と戦略」ワークショップで、FAOのミューラー天然資源・環境局長は、温室効果ガス削減といった原因に対する対策だけでなく、気候変動の影響に対応する緊急の行動が必要と訴えました。農業は気候変動の影響を最も受けやすい分野の一つで、特に農業への依存度が高く気候変動による被害への対応能力が低い途上国は重大な影響を受けることになります。

FAOは、特に途上国を中心とした加盟国に対し、農林水産業に気候変動が及ぼす負の影響に対応する能力を向上するための支援を積極的に行っています。データ集積を通じた被害の想定、農業を気候変動に適応させるために必要な情報作成ツールの開発なども今後の課題となっています。（9/10、ローマ）

関連ウェブページ

- Climate change information from FAO : [www.fao.org/nr/clim/clim\\_en.htm](http://www.fao.org/nr/clim/clim_en.htm)
- Climate's impact on agriculture : [www.fao.org/nr/climpag](http://www.fao.org/nr/climpag)
- "Adaptation to climate change in agriculture, forestry and fisheries : Perspective, framework and priorities" : <ftp://ftp.fao.org/docrep/fao/009/j9271e/j9271e.pdf>
- UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) : [unfccc.int/2860.php](http://unfccc.int/2860.php)
- Water scarcity : [www.fao.org/nr/water/issues/scarcity.html](http://www.fao.org/nr/water/issues/scarcity.html)

FAOは、木くずと余剰木材を再生可能なエネルギー資源に変えるコスタリカの試験プロジェクトが、開発途上国の今後の木材産業に新しい展開をもたらす可能性を持っていると発表しました。現在、多くの国で、製材工場からの余

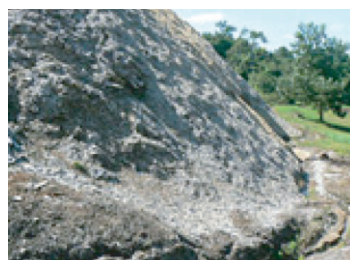


I.Rodriguez

▲余剰木材を細かく圧縮したもの。地場産業に役立つ再生可能なエネルギー資源である

剰木材により土地が埋めつくされたり川が汚染されるといった問題が生じています。また、その腐敗から温暖化に拍車をかけるメタンガスが発生し、自然発火が起きる危険性もあります。しかし、京都議定書の「クリーン開発メカニズム（CDM）」\*の一環として行われているこのプロジェクトにより、メタンの排出を防ぎ、再生可能なエネルギー資源が得られるようになると期待されています。コスタリカ政府に技術提言を行っているFAOのヘイノ林業局長は「温暖化ガス削減と持続可能な開発に大きく貢献するでしょう」と述べています。

同時に、CDMプロジェクトの実行には京都議定書への批准や指定政府機関の設置をはじめとする様々な条件が伴うため、開発途上国がより多くの利益を得られるよう、FAOは小規模のCDMプロジェクトに関する改訂をUNFCCCに求めています。（10/1、ローマ）



FAO

\*先進国と途上国が共同で温室効果ガス削減プロジェクトを途上国において実施し、そこで生じた削減分の一部を先進国がクレジットとして得て、自国の削減に充当できるしくみ

▲余剰木材が堆積している様子

関連ウェブページ

- FAO's Forestry Department and Forestry resources : [www.fao.org/forestry](http://www.fao.org/forestry)



## 食肉生産の急速な拡大で新たな感染症発生・流行の危険性も



FAO/22200/O. Thullier

▲工業的家きん飼育

世界の国々で生活向上、人口増加が続くとともに、食肉や卵、乳製品などへの需要が高まり、生産も増加しています。中でも、豚と家きん類の伸び率は高く、この10年間に豚は年率2.6%、家きん類は年率3.7%ずつ拡大しています。その結果、先進国では一棟あたり1万5,000~5万羽という家きん類の過密飼育が行われています。また、アジア、南米、アフリカにおいても伝統的な家畜飼育に代わって集約的な飼育が広がっています。新しい飼育方法に伴う家畜の移動や集中は、鳥インフルエンザのような感染症が世界規模で発生・拡大する原因の一つとなっています。現在、A型インフルエンザ・ウイルスの一部が世界規模で家きん類に感染拡大しており、豚にも感染が広がっていることから人間への影響も懸念されています。FAOはOIE（国際獣疫事務局）、WHO（世界保健機関）と協力して、家畜の疾病調査のネットワーク、各国間の協力のしくみを作ってきました。また、緊急事態対策センターを設置して各国の取り組みを支援しています。（9/17、ローマ）

### 関連ウェブページ

Industrial Livestock Production and Global Health Risks - policy brief : [www.fao.org/ag/againfo/projects/en/pplpi/docarc/pb\\_hpaiindustrialrisks.html](http://www.fao.org/ag/againfo/projects/en/pplpi/docarc/pb_hpaiindustrialrisks.html)  
 Industrial Livestock Production and Global Health Risks - research report : [www.fao.org/ag/againfo/projects/en/pplpi/docarc/rep-hpai\\_industrialisationrisks.pdf](http://www.fao.org/ag/againfo/projects/en/pplpi/docarc/rep-hpai_industrialisationrisks.pdf)  
 Animal production and health : [www.fao.org/ag/againfo/home/en/home.html](http://www.fao.org/ag/againfo/home/en/home.html)

## 「家畜の遺伝資源保護のための世界計画」を採択

109カ国の代表が参加した「第1回国際家畜遺伝資源会議」において、「家畜の遺伝資源保護のための世界計画」が採択されました。この計画は、家畜遺伝資源の多様性を保ちつつ品種改良や遺伝資源保全を行うための初めての行動枠組みとなります。FAOの「世界家畜遺伝資源白書（The State of the World's Animal Genetic Resource for Food and Agriculture）」によると、過去7年間にわたって、1カ月に1品種以上の家畜が絶滅しており、現在、全品種の約20%が絶滅の危機に瀕しています。計画は、169カ国からの情報に基づく初めての家畜遺伝資源の多様性に関する調査に基づいて立案され、現状把握、資源の活用と開発、政策策定と制度化、能力向上を優先課題としています。白書の作成と世界計画立案のプロセスを通して、家畜遺伝資源が食料安全保障にとって重要であることが広く認知され、計画実現のためには資金調達がこれからの課題であることが会議で確認されました。（9/11、ローマ）



FAO

▲家畜遺伝資源の多様性は、現在そして将来の食料安全保障にとってきわめて重要である

### 関連ウェブページ

International Technical Conference on Animal Genetic Resources for Food and Agriculture : [www.fao.org/ag/againfo/programmes/en/genetics/an-grvent2007.html](http://www.fao.org/ag/againfo/programmes/en/genetics/an-grvent2007.html)  
 The State of the World's Animal Genetic Resources for Food and Agriculture(pdf) : <ftp://ftp.fao.org/docrep/fao/010/a1250e/a1250e.pdf>  
 Farm animal diversity under threat : [www.fao.org/newsroom/en/news/2007/1000598/index.html](http://www.fao.org/newsroom/en/news/2007/1000598/index.html)  
 Discover the world of animal genetic diversity : [www.fao.org/ag/againfo/programmes/en/genetics/map.html](http://www.fao.org/ag/againfo/programmes/en/genetics/map.html)  
 Commission on Genetic Resources for Food and Agriculture(CGRFA) : [www.fao.org/ag/cgrfa/default.htm](http://www.fao.org/ag/cgrfa/default.htm)



## FAO、アフリカ洪水被害国を支援

FAOディウフ事務局長は、洪水によって被害を受けたアフリカ諸国における農業再開のために、持てる資材と経験の全てをつぎ込んで支援を行うと表明しました。また事務局長は、気候変動の結果として大洪水が起きた可能性に言及し、アフリカ諸

国の政府は気候変動が及ぼす影響を緩和するための戦略を早急に策定することが求められており、FAOは各国政府に助言する用意があると語りました。FAOは、ブルキナファソ、ジブチ、エチオピア、モーリタニア、ウガンダ、ガーナ、ナイジェリア、マリを始めとする被災国で被害調査を実施しています。FAOの推定では、東および西アフリカの被災した農村支援のために

1,200万USドルが必要です。FAOは、各国政府、国連の各国事務所、国連人道調整事務所と緊密に連携しながら活動しています。(9/25、ローマ)

## トピックス

## Topics



# アフガニスタン農業復興に関する出版物



FAO/Giulio Napolitano

FAOは、国民の85%が農業に従事するアフガニスタンにおける農村復興に関する書籍「Reconstructing Agriculture in Afghanistan (アフガニスタンにおける農業復興)」

▲FAOは、高収量品種の種子の提供を通じて農民を支援している

を、イギリスの出版社と共同で出版しました。この本は、19世紀に英露の勢力圏争いが及び中で進められたアフガニスタン建国が農業・農村形成に及ぼした影響を振り返るものです。1979年に始まったソ連軍侵攻と内戦によるかんがい施設の破壊や、農村からの人口流出、全国的な干ばつといった傷跡をかかえるアフガニスタン農村で、短期的な緊急事態対応と長期的・持続的な食料安全保障という2つの課題に対応する復興のあり方を論じています。また、人々の驚異的な復興力を支えた自立した地域経済圏の存在や、農業において女性が果たしてきた役割にも光を当てています。さらに、ケシ貿易をなくすためには農民の土地と金融へのアクセスを制限する地域経済と権力構造に配慮した取り組みが必要だと提起しています。(9/17、ローマ)

## 活動情報

# アイスホッケーチャリティー試合を開催します

FAO日本事務所はテレフード・キャンペーンの一環として、11月24日(土)、25日(日)の2日間にわたり、毎年恒例の「アジアリーグアイスホッケー2007-2008テレフードチャリティーゲームズ in Yokohama」を新横浜スケートセンターにて開催します(両日とも13:00/16:30より)。これはアジアリーグアイスホッケーの協力を得て行われるもので、当日は日光アイスバックス、王子製紙、SEIBUプリンスラビッツ、日本製紙

### 関連ウェブページ

Emergency relief and rehabilitation : [www.fao.org/reliefoperations/index\\_en.asp](http://www.fao.org/reliefoperations/index_en.asp)

### 関連ウェブページ

How to order the book : [developmentbookshop.com/product\\_info.php?products\\_id=754](http://developmentbookshop.com/product_info.php?products_id=754)

Field reports : [www.fao.org/newsroom/en/field/2007/1000636/index.html](http://www.fao.org/newsroom/en/field/2007/1000636/index.html)

Country profile : [www.fao.org/countryprofiles/index.asp?lang=en&ISO3=AFG](http://www.fao.org/countryprofiles/index.asp?lang=en&ISO3=AFG)

# 環境に優しい漁業を求めて

9月にダブリン(アイルランド)で行われた世界水産資源会議において、これまで各国政府や環境保護団体によって必要性が主張されてきた、環境に優しい漁業や、いつ・どこで・どうやって漁獲されたのかが判る水産資源流通が、市場からも求められていることが強調されました。FAOは、途上国が世界各国の食品衛生制度および市場が求める水産資源管理のための技術習得と制度作りを支援し、また水産品市場から途上国が排除されないようなルール作りに向けて一層の取り組みを行っていく予定です。(9/25、ローマ)



FAO

▲「環境に優しい漁業」を求める声に応じて水産業の改革が進んでいる

### 関連ウェブページ

FAO's Fisheries and Aquaculture Department : [www.fao.org/fi](http://www.fao.org/fi)  
2007 World Seafood Congress : [www.worldseafoodcongress07.com](http://www.worldseafoodcongress07.com)

## Activities



クレインズが出演します。会場ではテレフード募金を受け付けるほか、チーム(選手)グッズのチャリティーオークションなどが行われる予定です。

入場料金：前売券一般自由席(大人)2,500円(子供)500円  
※当日は500円増し(チケットぴあほかで発売中)

お問合せ：新横浜スケートセンター 045-474-1112

### 関連ウェブページ

アジアリーグアイスホッケー : [www.alhockey.jp/index.html](http://www.alhockey.jp/index.html)  
プレスリリース: アジアリーグアイスホッケー2007-2008 TeleFood チャリティーゲームズ in Yokohama : [www.fao.or.jp/news/documents/2007.10.25.pdf](http://www.fao.or.jp/news/documents/2007.10.25.pdf)

## 「世界食料デー」 イベント開催

10月16日の「世界食料デー」を記念して、FAO日本事務所主催の各種イベントが行われました。16日にはFAOインドネシア事務所の今井伸氏およびバングラデシュ



FAO/LOJA

▲「Food」の文字に形作られた300本のキャンドルが灯された

事務所の上田剛氏を迎え、FAOの行う食料安全保障特別事業 (SPFS) について、アジアの活動を報告いただきました。19日には横浜みなとみらい大ホールにて毎年恒例のテレフードチャリティーコンサート2007「大地の詩」が開催され、西本梨江 (ピアノ)、新垣勉 (テノール) ら各氏による演奏が披露されました。また、22日にはパシフィコ横浜プラザにて「キャンドル献灯イベントー世界をつなぐキャンドルナイトー」が行われ、200名の参加者が、今年の世界食料デーのテーマ「食料への権利」実現を願って、キャンドルに火を灯しました。

### 関連ウェブページ

報告：「2007年世界食料デー・キャンドル献灯イベント」：[www.fao.or.jp/news/071031CandleReport.pdf](http://www.fao.or.jp/news/071031CandleReport.pdf)

## 第3・4回食料・農業協力講演会

10月9日および24日、第3回、第4回食料・農業協力講演会が開催されました (JAICAF主催)。第3回はJICA農村開発部課題アドバイザー 西牧隆壯氏を講師に迎え、「JICAのアフリカ農業農村開発の現状と課題」をテーマに、来年5月に予定されているTICAD IVに向け議論の高まっているアフリカ開発について、小規模農村開発やネリカ米普及、砂漠化防止対策といったJICAの取組みと今後の方向性を中心にお話をいただきました。第4回は東京農業大学国際農業開発学科 板垣啓四郎教授を講師に迎え、「農業開発における『人的能力』の重要性と国際協力ー東南アジアの農村から学ぶー」をテーマにお話をいただきました。

### 関連ウェブページ

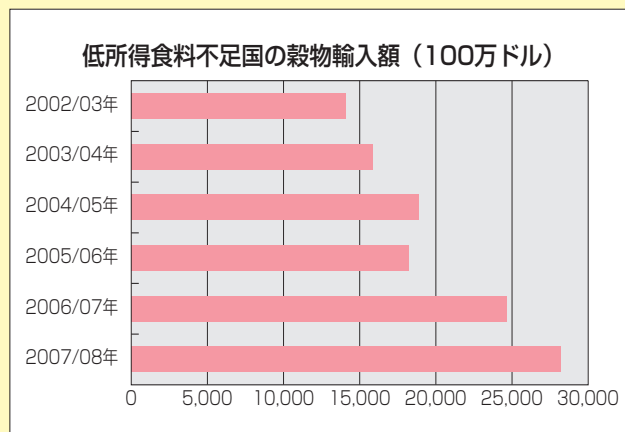
2007年食料・農業協力講演会：[www.jaicaf.or.jp/news/lecture.2007.htm](http://www.jaicaf.or.jp/news/lecture.2007.htm)

### 11月の活動予定

※青字は日本国内

- 11/14-16 FAO Council, 133rd Session, FAO, Rome
- 11/17-24 FAO Conference, 34th Session, FAO, Rome
- 11/21 第5回食料・農業協力講演会「国際農業研究協力と日本」講師：CIMMIT岩永所長 (東京・政策研霞ヶ関分室) JAICAF主催
- 11/22 Launch of the State of Food and Agriculture 2007 (SOFA) FAO, Rome
- 11/24-25 アジアリーグアイスホッケー2007-2008テレフードチャリティーゲームズ (新横浜スケートセンター)
- 11/26 FAO Council, 134th Session, FAO, Rome

## 今月の統計をよむ



最近の穀物価格の高騰は、低所得食料不足国に大きな影響を与えています。

低所得食料不足国の穀物輸入額は、2006/07年に対前年比35%増加し、246億ドルに達しましたが、2007/08年にはさらに14%増えて281億ドルに達する見通しです。これは、5年前と比べると、2倍の水準です。

今年の世界の穀物生産は対前年比5.3%増の21億1,420万トンと史上最高となる見通しですが、それでも、旺盛な需要のため、全体として在庫水準の回復には至らず、当面、逼迫した需給状況が継続する見通しです。開発途上国の食料安全保障上の懸念が、高まっています。

(FAO日本事務所長 横山 光弘)

## テレフード募金にご協力をお願いします

募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困農民の食料増産を支援する「テレフード・プロジェクト」に使用されます。

郵便振替口座

**00140-1-29732**

(FAO飢餓撲滅草の根募金)



**TeleFood**  
 Food for ALL

## メールニュース配信のお知らせ

FAO日本事務所では、FAOに関する各種情報をEメールで不定期に配信しています。ご希望の片は下記までご連絡ください。

[FAO-Japan-info@fao.org](mailto:FAO-Japan-info@fao.org)

## ニュースレターの配付について

本紙は、季刊誌「世界の農林水産—FAOニュース—」とセットでJAICAFの会員にお送りしています。ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。

※ニュースレターは指定場所でも配布しています。